

研究区分	教員特別研究推進（教育推進）
------	----------------

研 究 テーマ	歯科衛生士学生の職業的価値観の評価				
研究組織	代 表 者	所属・職名	歯科衛生学科・講師	氏名	小林 由佳梨
	研究協力者	所属・職名	歯科衛生学科・教授	氏名	吉田 直樹
		所属・職名	歯科衛生学科・教授	氏名	野口 有紀
		所属・職名	歯科衛生学科・講師	氏名	松原 ちあき
		所属・職名	歯科衛生学科・助教	氏名	藤田 美枝子
	発 表 者	所属・職名	歯科衛生学科・講師	氏名	小林 由佳梨

講演題目
歯科衛生士学生の職業倫理遵守状況の評価
研究の目的、成果及び今後の展望
【背景】 口腔と全身の健康に関するエビデンスの蓄積や高齢社会の進展に伴い、医科歯科連携の重要性が高まる中、歯科衛生士も医師や看護師と同様に様々な倫理的問題に直面している。こうした課題に対して適切な行動をとる能力は、個人の道徳的価値観や職業倫理規範に基づくと考えられる。よって、歯科衛生士教育の中においても、その遵守傾向を客観的に評価することは教育的意義が大きい。 【目的】 本研究では、本学歯科衛生学科学生を対象に、学年間における倫理綱領の遵守状況を明らかにすることを目的とする。 【成果】 文献調査の結果、職業倫理に関する研究は非常に限定的であり、その多くは看護師など他の医療従事者を対象とするものであった。また、ジレンマに対する倫理的行動評価や、倫理的態度を評価したものが多く、具体的な倫理的行動が遵守できているかを明らかにしたものはほとんどなかった。職業的価値観の評価ツールに関しては、歯科衛生士を対象とした同等の尺度は存在しなかった。さらに、歯科衛生士養成校の学生を対象として、学年間での比較を検討したものもほとんどみられなかった。一方「歯科衛生士の倫理綱領」（日本歯科衛生学会, 2019）は、歯科衛生士として遵守すべき行動規範を 16 項目掲げている。具体的行動規範の遵守は、個人の倫理観や職業倫理意識が反映された行動の現れと考えられ、遵守状況を測定することは、職業的価値観の間接的評価として位置付けることができる。このことから、「歯科衛生士の倫理綱領」をアンケートとして使用可能であると判断した。本研究では、授業で活用していた既存資料を研究用アンケートに転用することとした。 今後は、本学科学生を対象にアンケート調査を実施し、職業倫理遵守状況の調査および学年間比較を行う予定である。 【今後の展望】 本研究は、歯科衛生士教育や倫理意識向上に資する基礎資料の提供ができると期待される。また、国内外の既存研究との比較や学際的研究への展開も視野に入れ、歯科衛生士の職業倫理に関する体系的理解の確立に貢献することを目指す。